

平成 30 年度第 3 回庄原市初任者研修会

平成 30 年 8 月 21 日（火） 庄原市比和自治振興センター・比和自然科学博物館

「庄原市における教育課題を踏まえ、新規採用教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 7 名、中学校教諭 4 名、養護教諭 3 名、主事 2 名】

【講話・演習】「学習者基点の授業づくりについて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成

授業を企画し構想する上で大切な教材研究について、講話・演習を行った。前半は、小学校第 4 学年算数科「面積」の授業の導入についてグループごとに考え、模擬授業を行った。後半は、2 学期に行う授業の教材研究について、各教科の担当指導主事が指導・助言を行った。

- ◆授業を企画し構想する際には、常に児童生徒の顔を思い浮かべ、教材研究を行うこと。
- ◆学習指導案作成時には、児童生徒の学習意欲を高める課題を工夫したり、話し合いを通して考えを深め広げられるよう発問を工夫したりすること。また、学んだことを実感できる振り返り活動を充実させること。



(参加者の振り返りより)

- ◇児童の「やりたい」という気持ちを大切にするために、どのような手立てが必要か、どのような授業の進め方が適切であるかについて学ぶことができた。
- ◇学習者主体の学びにするために、単元レベルで授業を構想していく必要性を学ぶことができた。

【講話】「メンタルヘルス研修 ストレスとうまく付き合う

～心の健康を保つために～

臨床心理士 藤沢 真智

教職員を続けていくために、自分のストレス状況に気付き、日常的、意識的にストレスをマネジメントすることについて、講話を行った。

- ◆ストレスと心身の関係を理解し、自分のストレス反応の表れ方を知っておくこと。そして、対処法を学び、日常生活でストレスマネジメントを行うこと。
- ◆職場内のソーシャルサポートの力を高めること。仕事への具体的なサポートや情緒的なサポートにより、しんどさを共感できる組織づくりが大切であること。



(参加者の振り返りより)

- ◇ストレスに対応するための具体的な方法を知ることができた。ストレスを解消して、仕事の質を高めたいと思った。
- ◇現在、教職 1 年目という変化の大きい時期なので、自分自身の心・体・行動の変化に気を配り、ストレスとうまく付き合っていこうと思った。

【施設見学】「比和自然科学博物館」

比和自然科学博物館長 進藤 眞基

庄原市の豊かな自然に係る展示物やその価値について、館長の案内により見学を行った。

- ◆モグラをはじめ、多くの生物の標本が展示及び管理されていること。
- ◆直接触れて観察できる生物や鉱石の標本があり、授業に活用できること。



(参加者の振り返りより)

- ◇実物を見たり、さわったりすることで、いろいろな発見や驚きがあった。
- ◇庄原にはこんな自然と触れ合える場所があるとは知らなかった。生徒たちにも本物に触れる機会をたくさん提供していきたいと感じた。

【講話】「児童・生徒と向き合う」

庄原市教育委員会 教育指導課長 東 直美

教職員に期待される役割と児童・生徒への対応について講話を行った。

- ◆求められる教職員像として、普遍的な事項と新たな「教育県ひろしま」の創造に向けて特に求められる事項がある。常に教育公務員としての自覚をもって、業務にあたる必要がある。
- ◆学校教育法第11条に規定する児童生徒の懲戒・体罰等に関する参考事例を踏まえ、体罰に対する正しい認識に基づき、指導に当たること。



(参加者の振り返りより)

- ◇自分自身が、日々の授業で、何を大切に授業しているのか、何を伝えたいと考えて授業をしているのかについて、再度見直す機会となった。
- ◇体罰に当たる行為と体罰に当たらない行為について、演習を通して改めて確認することができた。

【講話】「教職員としての在り方について」

庄原市教育委員会 教育部長 片山 祐子

教職員としての基本姿勢を大切にすることについて、講話を行った。

- ◆教職員として、常に学び続けることが大切である。指導者が学び続ける姿を児童生徒が見て成長することができる。児童生徒の生き方の先輩としての姿を示すことが大切である。
- ◆教職員としての心得として、高い倫理感と人間性を身に付けることが大切である。個人のイメージは学校のイメージということをおぼえてはいけない。



(参加者の振り返りより)

- ◇教育公務員としての自覚を強くもち、24時間、365日信頼を失わないよう意識して行動しようと思う。
- ◇庄原市の教職員として、庄原に貢献できるような働きをしたい。4年間でしっかり力を付けたい。
- ◇専門性を高めるために、自らを磨き、学び続ける教師でありたいと思う。